単 元 名	Speaking Plus	配当時間	５～12時間
単元の目標	(1) 生活における各場面において，適切な表現を用いて積極的に対応しようとする。 (2) 場面に応じた適切な表現で話しかけたり，応対したりすることができる。 (3) いろいろな慣用表現や場面に特有な表現の意味と機能，対話におけるマナーを理解することができる。		

☆本単元では，主に日常生活の中でよく使われる慣用表現や特有の表現を理解させ，「話すこと」に対する意欲を高めさせ，実践力を身に付けさせたい。

場面に応じた対話をしてみよう。

①★SP1(1) 先生などの目上の人に対して，ていねいに許可を求めたり，依頼する表現を知り，練習する。
評適切な表現で許可を求めたり，依頼したりすることができる。（発表，観察）
② SP1(2) 友達にお願いする場合の対話をする。
③★SP2(1) 目的地までの行き方を尋ねたり，教えたりする。
評目的地までの道順を尋ねたり，教えたりできる。（発表，観察）
④ SP2(2) 自作の道案内のスキットを発表する。
⑤ Speaking Test 目的地までの道を尋ねたり，教えたりする面接テストを受ける。
⑥★SP3(1) 「～しませんか」と人を誘ったり，「～しましょう」と提案する表現を練習する。
評さそったり，待ち合わせの時間・場所を決めることができる。（発表，観察）
⑦ SP3(2)自作のさそい・待ち合わせのスキットを発表する。
⑧★SP4(1)「ほめる」表現を練習する。
評適切な表現を用いて，人をほめることができる。（発表，観察）
⑨ SP4(2) 自作スキットをつくって発表する。
⑩★SP5(1) 電話で話したい相手以外の人が出た場合の会話をする。
評電話の対応で，取り次ぎが頼むことができる。（発表，観察）
⑪ SP5(2) 自作スキットをつくって，発表する。
⑫ Speaking Test 電話での対話のguided conversation を行う。

①・対話練習におけるパートナー役
②・自作スキットづくりのアドバイス
・発表に対するコメント
③・ＪＴＥとのロールプレイ
④・スキットつくりのアドバイス
・発表に対するコメント
⑤・尋ねられた場所を教えたり，道を尋ねたりする面接官
⑥・ＪＴＥとのロールプレイ
⑦・生徒の発表の評価
⑧・スキットつくりの支援と評価
⑨・自作スキットづくりのアドバイス
⑩・ＪＴＥとのロールプレイ
⑪・スキットつくりの支援と評価
・ＪＴＥとのロールプレイ
⑫・発表に対するコメント
・教科書以外の電話特有表現の紹介
・生徒との対話で，生徒からの電話に不在であることを伝え，メッセージを受け取る面接官

o②では，Tool Boxの表現を使って，許可を求める・依頼するときの他の言い方やその答え方を練習する。

o③の道案内は１年生～３年生まで各学年で取り扱う内容のもので，各学年が，工夫をこらして，関連に十分考慮して扱うとよい。

o④では，Tool Boxの表現を使って，道順を尋ねるときの他の言い方やいろいろな答え方を練習する。また，□教P.107も参考にするとよい。

o⑦では，Tool Boxの表現を使って，さそうときの他の言い方やさそいを断るとき・断られたときの言い方を練習させる。

o⑫のSpeaking Testにおいては全員に課題を与えておき，数人のグループを別室に入れて行う。